

第8節 5日目：8月11日（水）：佃～琴平 晴れ

2021年8月11日（水）晴れ、今回の旅の第5弾は、土讃線の佃駅から琴平駅までの営業キロ27.5kmに挑戦する。佃駅に最も早い列車で臨む。土讃線ではなく徳島線で佃駅までの移動となった。佃駅には5時52分到着。



※いざ出陣、阿波池田駅、佃駅



※三好大橋駅への路、秀磐山不動院、三好大橋（これから正面の山を上る）

本日の各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

佃（5:56）～箸蔵（6:50）～坪尻（8:13）～讃岐財田（12:52）～黒川（13:55）
～塩入（15:40）～琴平（17:58）

①昨日通った道筋を歩き、6時17分より万歩計で456歩ある三好大橋（吉野川）を渡る。6時26分、橋を渡ると州津堂面交差点があった。橋を渡った反対側も三好市の街並みが広がっていた。6時40分、高松方面と鳴門方面の交差点に到達。高松方面に向かう。6時43分、県立池田高校三好校前を通過。6時45分、高松50km、琴平21kmと記した道路標識前を通過。6時50分、本日最初の箸蔵駅に到着する。暫くすると琴平行きの列車がやって来る。



※三好大橋を渡る、州津堂面交差点



※池田高校三好校、箸蔵駅



※箸蔵駅（琴平行きがやって来る）、遠くに赤い三好大橋が見える

②6時58分、JR線を跨ぎ鉄道右側となる。7時4分、箸蔵山ロープウェイ前を通過。7時8分、先程通って来た三好大橋が高台から見える。7時18分、蔵谷第1洞門(145m)と蔵谷第2洞門(99m)前に到達。国道5号線の7時43分、高松48km、琴平19kmと記した道路標識前を通過。山道を淡々と歩く。7時58

分、**秘境駅である坪尻駅**の案内板を見つける。ここから 15 分位足元に注意しながら 300m 位ある山道を下る。



※箸蔵山ロープウェイ



※坪尻駅への路、坪尻駅の看板



※坪尻駅への路



※秘境駅坪尻駅

坪尻駅には8時13分到着。駅前を鑑賞していると、8時15分頃、琴平駅行の1両編成の車両がやって来る。天と神に感謝。劇的な場面との出会いである。ここで車両は14分位停車する。8時21分、高知行きの特急が通過して行く。8時30分頃から1両編成の車両はスイッチバック態勢に入る。そして、8時34分、琴平に向かってトンネルの中へ。スイッチバックまでの時間を利用して、駅舎ノートにメモする。8時42分より、坂道を上り国道に戻る。8時56分、国道32号線に到着。ネットや近隣の方に聞いた学習効果などが功を奏し、達成感に浸る瞬間であった。



※琴平行きの車両（鉄道ファンが10分位の時間を利用して記念写真）、高知行きの特急”南風”通過



※駅ノートにメモ（チラシも添付）、スイッチバックして琴平へ



※坂道を上り国道へ、この山の下に坪尻駅が！！

参考までにこれまで21年間のウォーキングを通じて、”歩く鉄道作家”として
思いつく秘境駅は次の7つの駅舎だろうか？

○姫川駅：函館本線：2016年6月23日（木）踏破（現在廃駅、何人もの地元の人に聞きながらやっと到着）

○千丈駅：予讃線：2017年8月6日（土）踏破（伊予平野駅から幾つかの尾根を回ってやっと到着）

○筒石駅：元北陸本線：2018年6月3日（日）踏破（谷底に駅舎あり、地下階段を下る）

○新改駅：土讃線：2018年8月8日（木）踏破（山の頂上にあり、繁藤駅からの道筋迷路）

○宗太郎駅：日豊本線：2019年2月9日（水）踏破（1日早朝の1便しかダイヤなし）

○下山駅：山陰本線：2021年3月22日（月）踏破（胡麻駅からの道筋迷路）

○鎧駅：山陰本線：2021年7月4日（日）踏破（餘部駅から登山道）

③坪尻駅を後にし、讃岐財田駅を目指す。8時59分、高松まで国道32号線で47km地点を通過。山道を淡々と歩く。込野橋の先に354mある込野トンネル（9時41分）があった。9時48分、高松45km、琴平16kmと記した道路標識前を通過。9時49分より、万歩計で109歩ある込野洞門を通過。9時59分より、827mある猪ノ鼻トンネルを通過。10時10分、このトンネルの中で徳島県と香川県の県境となる。10時18分、高松43km、琴平15kmと記した道路標識前を通過。10時31分、新牛岩橋（146歩）で岩砕き工場（セイアステリアル）があった。10時38分、「ようこそ香川県の看板」を目にする。歩いて歩いて螺旋状の山道が続く。10時45分、50mある財田第四トンネルを通過。10時53分、40mある財田第二トンネルを通過。そして、59mある財田第一トンネルを通過。11時18分、木々の間から阿波池田方面の特急車両を見つける。



※込野トンネル、猪ノ鼻トンネル、このトンネルで県境



※ようこそ香川県の看板、財田第二トンネル



※螺旋状の山道



※財田第一トンネル、やっと民家が、道の駅”ざいた”

11時30分、高松まで39km地点で民家が見えて来る。11時43分、香川県に多いため池前を通過。11時47分、道の駅「たからだの里さいた」で讃岐うどんとおでんを頂く。やっと香川県に戻ったと感じる。ここから疑心暗鬼で道筋を歩く。くねくねした道筋を自力にてやっと讃岐財田駅（12時52分）到着する。駅前には大きな楠の木（？）があった。



※さぬきうどん&おでん、讃岐財田駅への路



※讃岐財田駅への路、讃岐財田駅



※讃岐財田駅

④鉄道の左側を歩く。13時13分、高知行きの特急”南風”と対面する。13時38分、70歩ある山脇橋を渡る。13時43分、県道202号（春日讃岐財田停車場線）まんのう町新目前を通過。13時46分鉄道下を潜った先で黒川駅を見つける。しかし、鉄道下を再度戻らないと駅舎には行けず。13時55分、黒川駅に到着する。10m位階段を上った先に駅舎はあった。



※南風との対面、山脇橋、鉄橋



※黒川駅

⑤塩入駅の道筋は山があつてなかなか越えられず。14時17分、行き止まりにぶつかる。地元の人々の応援を得て、30分位右往左往し、やっと迷路を脱出する。14時36分、鷲尾神社前を通過。14時51分、ラッキーにも想定もしない大口農協前踏切に到達することができる。神風が吹いたと感じる瞬間であった。ここから鉄道に沿って左側を歩く。15時6分、高知行きの南風と対面する。15時33分、第2大口道踏切を横切り、鉄道の右側を歩く。その先に塩入駅(15時40分)があった。



※塩入駅への道筋、大口農協前踏切



※塩入駅

⑥ここから満濃池を経由して琴平駅を目指すことにする。満濃池は香川県に高校時代まで在住したにも関わらず、一度も訪れていなので、折角の機会であったので立ち寄ることにする。満濃池まで3 kmとあった。道路案内に従って進む。16時18分、日本最大級の「ため池」満濃池に到達。満濃池から琴平駅には道筋が複雑でなかなか到着できず。歩けど歩けどまんのう町から脱出できず。くねくねした道筋を通りやっと琴平町に入る。16時35分、照井川を渡る。地元の人に聞きながらやっと琴平駅が見えて来る。17時50分、琴平第1踏切を横切り、鉄道の左側となる。途中、琴電琴平駅があった。琴平駅には17時58分到着。琴平から多度津、そして高松にかけては、窪川から琴平区間と異なり電化されていた。



※満濃池



※琴平駅への路



※香川の地酒”金陵”、琴平駅

⑦琴平駅 18 時 21 分発の電車で善通寺駅まで移動する。本来ならば、琴平で宿泊すべきところ、観光地で宿泊代が高いことから善通寺駅とした。善通寺駅より善通寺グランドホテルまでタクシーで行き、チェックイン後、ホテルの紹介の食事遊房”吉風”で本日の疲れを癒す。充実した一日であった。財布にやさしい善通寺を選択し、結果大成功であった。いい宿、いい食事処であったからだ。



多度津行き車両（琴平駅）、善通寺駅



※善通寺グランドホテル、吉風で堪能

第9節 6日目：8月12日（木）：琴平～多度津 雨

2021年8月12日（木）晴れ、今回の旅の締めは、土讃線の琴平駅から多度津駅までの営業キロ11.3kmに挑戦する。雨と悪天の中にも関わらず、今回の旅で最も営業キロが短かく、平坦地であったので、最も楽なコースであった。今回初めてホテルで朝食を取り臨む。愛知県から合宿のため、小学生グループの姿が朝食会場にあった。食事を済ませ、7時40分頃、雨は降っていなかったため、タクシーではなく歩きで、善通寺の街並み（本郷通りなど）を堪能しながら善通寺駅を目指す。善通寺駅舎から善通寺が生誕地ということで、弘法大師空海の像の掲示板が印象的であった。私の小学校時代、香川県には、高松市をはじめ丸亀市、坂出市、観音寺市、善通寺市と5つあった。それ故、5自治体とも

60年以上の歴史がある市である。善通寺駅を8時18分の電車で琴平駅まで移動する。琴平駅に到着の頃は雨となる。



※ホテルを出発し、善通寺市の街並み



※善通寺駅、弘法大師の画像

本日の歩きは、多度津駅から窪川駅までの営業キロ 198.7 kmが繋がる。締めの日である本日の各駅舎到着時刻は次の通り。

琴平（8:28）～善通寺（10:16）～金蔵寺（11:05）～多度津（12:38）

①雨の中、琴平駅をデジカメに収めて善通寺駅を目指す。琴平の街並みを歩く。8時38分、琴参館前を通過。8時49分、琴参バスターミナルがある。8時56分、大麻踏切を横切り、鉄道の右側となる。丁度琴平行きの電車がやって来る。8時50分、高知行きの南風と対面する。9時2分、松山113 km、高松39 km、善通寺4 kmと記した道路標識前を通過。9時6分、岩崎バス停前（琴参バス）を通過。9時48分、大熊野神社に本日の安全を祈願。9時54分、尽誠学園、香川看護専門学校前を通過。中通町踏切を渡った先に善通寺駅（10時16分）があった。駅の西側にホテルがあるのを東側にあると勘違いしていた。それ故、方向性の関係からこの踏切界限で右往左往となった。



※琴平駅



※琴平駅



※琴平駅界限



※大麻踏切、尽誠学園・香川介護専門学校



※善通寺駅

②10時26分、JR線下を潜り、鉄道の右側となる。国道を淡々と歩く。金蔵寺国道踏切を横切った先に金蔵寺駅（11時5分）があった。界隈に四国霊所第76番札所の金倉寺（こんぞうじ）があったので立ち寄る。この寺には七福神が祭られていた。お参りも兼ね15分位境内を散策する。



※金蔵寺駅への路、金蔵寺駅



※金蔵寺駅



※第 76 番札所” 金倉寺”

③11 時 43 分、善通寺市から多度津町となる。11 時 45 分、国道 11 号線下を潜る。11 時 52 分、金陵多度津工場前を通過。12 時 8 分、県道 25 号線（善通寺多度津線）多度津町道福寺前を通過。12 時 16 分、八十主神社前を通過。12 時 29 分、地下道を通り、J R 線の左側となる。道なりに歩いた先に多度津駅があった。駅前には” 四国鉄道発祥之地” と” 少年寺拳法発祥のまち” と記した記念碑があった。多度津駅は、2014 年 8 月 11 日（月）予讃線踏破の際立ち寄った駅舎で、懐かしさが込み上げてきた。同時に、土讃線が踏破でき達成感に浸る。



※多度津駅への路、多度津駅



※” 四国鉄道発祥之地” の記念碑、” 少年寺拳法発祥のまち” の記念碑

④本日で今回の赤穂線・土讃線・徳島線の歩き旅は終了。各地、台風などで大荒れであったが、お蔭様で天や神のご加護もあり、概ね天気恵まれ、ラッキーな5泊6泊の旅であった。多度津駅発13時1分のサンポート南風リレー号(快速)で高松駅に向かい、家族と合流。8月12日(木)から8月16日(月)かけ、歩き鉄旅に続き、墓参りなど家族との団欒の時間を過ごせ、楽しい9泊10日の旅であった。完



※多度津駅、高松駅